

	令和5年6月21日(水) 19時00分～21時00分							
会場	市民プラザあくろす2階はばたき、オンライン(ZOOM)参加あり							
運営委員	会場	村上 むつ子	会場	平澤 和哉	会場	横山 真理	会場	水田 征吾
	オンライン	加藤 和歌子	オンライン	毛利 勝	会場	小松 明日香	会場	原島 秀一
	会場	石井 洋子	会場	阿部 秀樹	オンライン	浜本 雅樹	会場	石正 房江
	会場	安藤 雄太	会場	佐竹 澄子	会場	熊谷 紀良	会場	松谷 知彦
	会場	田村 敦史	会場	ニンファ・ジャヤマーンナ				
事務局	池田、上野、渡邊							

1 はじめに

配布資料の確認

〈協議事項〉 19:20～20:40 (80M)

2 今期の運営委員会で取り組むテーマについて

資料1

3つのグループに分かれ、今期の運営委員会で取り組むテーマについてアイデアを出すグループワークを行った。

【グループ1】 どんなことに関心があるかを中心に話し合った。

- ・若い世代の地域参画について話している中で、今の若者はどんな時に人とのつながりを実感するのかという話になった。時代によってつながりの感じ方が変化している可能性がある。
- ・多様な価値観を受容する必要性が広がっている一方で、まだまだ環境が整っていないようにも感じる。
- ・なんでも話せる場が色々な切り口で沢山あるといい。子どもの頃は駄菓子屋などもそうした機能を果たしていた。大人は、立ち飲み屋のような場所でもつながることも多い。
- ・「居場所」や「見守り」と言われると行きたくないという人も多い。山登りなど趣味の延長で、楽しく共通の会話ができる場所であれば、集まりやすいかもしれない。
- ・学校からのボランティア指示(強制)もきっかけになるかもしれない。子供のころの体験が楽しいものであれば、大人になってからの活動が活性化するように思う。情報発信も大事。人が持つ様々な関心やスキル等は会話してみないとわからない。ターゲットを絞ってやってみる。
- ・一人ひとり異なる感じ方があるため、「つながり」や「居場所」「対面」など、必ずしも好意的に受け止める方ばかりではない。どんな人を対象

と想定して企画するかも重要。

- ・地域に出るためには、強制されないきっかけづくりが大事だと思う。

【グループ2】 いろいろな話が出て、まだまとまっていない。

- ・外国籍の当事者委員の話に関心が集まった。外国籍の方の生活はどういう生活なのか。短期滞在の外国籍の方の支援についても話が出ていた。
- ・子供の対応で大人は忙しく、学校にいけない子供や不登校の子供の受験、悩みがある人をどうつないだらいいかについて、課題を感じた。支援をしたい人、支援を必要とする人をマッチングするつなぐ役割を増やしていけたらいい。
- ・前期から取り組んでいる「居場所探訪プロジェクト」について、成果を何らかの形で市民に還元できると良い。

【グループ3】 前回の議論を踏まえて、グループが変わっても、それぞれ関心のある課題に共通点があると感じた。

- ・母親世代は、学校と地域、保護者との関係性が希薄でつながりにくい。
- ・50代男性の20年後の心配。地域につながっていない人が多いことが予想され、孤立を防ぐつながりが必要。
- ・属性を問わず共通してつながる方法として、「防災」は有効ではないか。
- ・いずれにしても、つながりを得るきっかけを作る難しさがあると思われるため、きっかけを作っていく企画を検討している。ドキドキ感や楽しさが伝わる企画、参加しやすい取組みが良い。
- ・50代男性向けの年間予定表やスタンプラリー等も面白いのではないか。
- ・中高生、若者、子育てママ、50代男性、高齢者、外国籍の方など、様々なアプローチ先が考えられるが、ターゲットを絞るのかなども検討が必要。
- ・グループに色があると入りづらいという声がある反面、色がないと特色がないので集まらないという声もある。

- 検討結果… 各委員でアイデアをまとめてくることになった。
次回運営委員会で継続して検討していく。

〈報告事項〉 20:40～20:55 (15M)

3 令和5年度えんがわファンド選考結果について

資料2

【事務局】 えんがわファンド助成金事業について5月22日に選考委員会を実施、11団体に助成決定した。

しかしながら、選考委員会から、次年度の助成に向けて課題が提起されている。えんがわファンドがどのような活動を評価し、支援するのかについて、ボランティア活動・市民活動の在り方が時代とともに移り変わる中、今の要綱上の視

点が合わなくなってきている。

どのような形であれば、よりよい支援ができるかについて、下半期の運営委員会で議論していきたい。

また、助成先団体の見学も調整していく予定。

5 調布サマーボランティア2023について

資料3

【事務局】 調布サマーボランティアのプログラム(42団体)が決定した。

昨年度よりプログラム数を増加、定員も200名程度の受入れを予定している。

6月24日より受付を開始。参加者のフォローアップにも力をいれていく予定。

〈その他〉20:55～21:00 (5M)

6 情報共有

・ 9月15日(金) TVAC拡大センター長会議について

【委員】 TVAC拡大センター長会議について、今後の予定を共有。

今年度は9月15日(金)、調布で開催したいと考えている。

センター長のほか、運営委員の参加も認め、より良い運営を考えていく拡大企画である。調布の運営委員の皆さんにも集まっていただき、ぜひご協力をいただきたい。

昨年度は板橋区で実施。ボランティアセンターのミニ農園を体験、パネルディスカッション、分科会。街歩きやリレートークなどの実績もある。

7 今後の市民活動支援センター運営委員会の開催日時と議案について

資料4

・ 7月21日(金) 15時～17時

・ 9月15日(金) 19時～21時